

育てよう 鏡野のよい子シリーズ



「大野小学校二年目の私」

大野小学校では「元気な子・考える子・助け合う子」を目指す子ども像としています。そんな大野小学校で、勤務二年目の私が感じたことを紹介したいと思います。

大野小学校では掃除や行事で縦割り班を組んで活動をしています。上学年の児童が下学年の児童に教えたり、励ましたりする温かな場面をよく目にします。

例えば九月の運動会では、赤・白・青・黄組でそれぞれ応援合戦を行います。六年生が考えたダンスや替え歌を縦割り班で協力して覚え、発表できるようにしていきます。応援練習の初日にはまとまっていなかったチームも、本番には大きな応援と、チームとしてまとまったダンスを見せてくれます。子どもたちが自ら考え、助け合い、元気に発表する力に驚かされます。子どもたちが自分たちで考えた活動を実現させようと悩みながらも努力している時、いつも私は指導を入

れるタイミングを考えさせられます。

「今、子どもたちは自分たちで考えているな・・・この悩みも必要なことだよな。もう少し声をかけるのは待とう・・・」と。

禅の言葉に「啐啄同時（そつたくどうじ）」というものがあります。

卵の中の雛が殻を破って生まれ出ようとするとき、卵の殻の内側から雛がコツコツつくことを「啐」といい、親鳥が外から殻をコツコツつづくの「啄」といいます。「啐」と「啄」とによって殻が破れて中から雛が出てくるわけです。この絶妙のタイミングを「啐啄同時」というそうです。この言葉は、迷っている人が答えを出す時、指導者がいかにタイミングよくヒントを与えるかの大切さを言っています。

私も「啐啄同時」をめざして子ども達としつかり向き合い、一緒に成長していきたいと思っています。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会

大野小学校 清友信吾

のびのびひろば

秋だ!祭りだ!!わっしょい!わっしょい!

地域でお祭りを経験した子ども達。保育園でもさっそくお神輿やだんじりの飾りつけ・獅子舞の準備や屋台の品物作りが始まりました。お祭りごっこ当日・・・みどり組、き・あか組は、お神輿を担いで「わっしょい!わっしょい!」。もも1・2組は、バギーのだんじりに乗ったり引いたりしながら「ソーヤレ!!」の掛け声に合わせて地域を練り歩き、歌や獅子舞を披露し、たくさん拍手をいただきました。また、園庭では、いろいろな屋台が始まり、「いらっしゃいませ〜!」「これください!」「はいどうぞ!」など、お祭りごっこも盛り上がり、みんなで楽しく過ごしました。



5歳児 みどり組
金びかキラキラ神輿と
獅子舞!!



3.4歳児 あか・き組
秋の自然神輿!!



わっしょい! わっしょい!
おまつりだ〜♪



0.1.2歳児 もも1・2組 バギーだんじり



わっしょい! わっしょい!



かんぱーい! おいしいね!!



元気に過ごせます
ように☆



「いらっしゃいませ〜!」
「これください!」
「はいどうぞ!」



(香南保育園)